

東京都退職校長会



会報

発行所 東京都退職校長会
発行者 多田 丈夫

〒113-0034 文京区湯島4-12-3 日本退公連・鈴木共同ビル5F
電話 03-5814-5615

東京都退職校長会ホームページ <http://www15.ocn.ne.jp/~totaikou/>

1. 「原動力」：動いた支部長会
七十九名。この数字は本年度
本会へ入会された現時点での合
計者数である。

東京都退職校長会にとって、
もうかけがえのない一員となら
れた方々である。プラチナのよ
うに輝いているととってもいい。
令和元年にスタートのこの険
しい一本道に、どうい道筋が
あるというのだろうか。しかし、
人はよく道は自ずから開けるも
のだという。私たちはただひた
すらに幸運の道と信じつつ、



退職校長会の底力を見た
―邁進一途の支部長・支部会員のうねり―
本会副会長(業務推進本部長) 桐谷 澄男

ただ前進し、ただ邁進する。
そこには、すでに後ろを振り
向くことを忘れたプロジェクト
ト・チームの強力なメンバーが
いる。

さらには、「灯台もと暗し」
と云っていい雄姿たちがいる。
それは支部長さんや支部役員さ
んたちなどだ。これからも、支
部を背負って立つ頼もしい援軍
である。

辛い一本道でないわけではない。
しかし、今後も、支部でペア
を組んで一軒一軒回って下さる

という構想は矢張り捨てがたい。
加えて言うけれども、未加入者
に知り合いの現会員の存在は計
り知れないものがあるというこ
とである。

2. 「存続」：ただ一点の想い
ごく普通にいうと、この七十
九名の入会というのはまだ少な
い。
ところが本会にとって今、実
はこれは少ないとはならない。
激震が起こったばかりであるか
らである。

さらに、この十一月には、五
年前退職の方を対象の勧誘があ
る。十二月へとそれは続く。そ
して、今後もしばらく勧誘は計
画的に続くことになる。

今、勧誘の合間に、ここ一年
間における支部長さん並びに支
部の皆さんの勧誘への「原動
力・推進力」に感謝を覚えるの
みである。

このように、我が東京都退職
校長会の「存続」に向けた底力
をまざまざと見せ付けつつある
が、いささかのブレがあつては

ならない。

私たちは、会員増強に関わっ
て、ひるむことなく、一度決め
たことに向かつて鋭意努力邁進
していく。

それが東京都退職校長会とし
ての歴史と伝統をもつ本会の進
むべき道と考える。

そして、ここには「存続」に
向け歴代先輩諸氏への、少しば
かりのお礼にもしなければなら
ないという心が動く。

道はまだ険しい。しかし、「存
続」を掛けたキャンペーンは続
く。

主な記事

- P1 巻頭言 副会長挨拶
- P2 五団体との教育懇談会
—報告—
- P3 令和元年度『第2回会員
研修会』のご案内
高齢者叙勲受章会員
- P4 第一回「人材バンク」
登録者対象研修会報告
- P5 地方会員の声
新入会員の声
- P6 支部だより
- P8 物故者、湯島の動静、
編集後記

五団体との教育懇談会―報告―

去る8月31日(土)、恒例の五団体との教育懇談会が本会事務局のある日本退公連・鈴木共同ビルの三階会議室を会場に13時30分から16時にわたり開催された。参加者は五団体の代表と本会の役員一同。

会は宇津木副会長の司会で進められ、記念撮影、会長挨拶、自己紹介に続き、五団体代表により当面する校種別の教育課題のプレゼンテーションが行われ、それを受けての質疑応答、意見交換が持たれた。

休憩を挟んで本会の主たる事業活動の説明では担当副会長、各部部长から説明があった。とりわけ本会の大きな課題となっている会員増強の取組については桐谷副会長から時間を取って話された。説明後の質疑応答では各代表から多くの質問が出された。

多田会長は開会時の挨拶で本会の姿勢を語られた。「教育界を取り巻く状況は困

難を極めている。新学習指導要領の実施、教育管理職の資質の向上、教育の質の向上、働き方改革など喫緊の課題である。校種が違えば共通性もあれば違った取組みもある。それを越えて混迷を極める教育界の中でどうしていけばいいか我々も学習したい。」「退職校長会としてはこのような機会を通して、我々の課題も先生方に聞いていただき、今までにないwin-winの関係を醸成していきたいと考える。」

次に各団体の代表によるプレゼンテーションの要旨を記す。(特別支援学校は都合により欠席された。)

□幼稚園・こども園

東京都国立幼稚園・こども園長会 副会長 高橋 由美子
○課題三点―①質の高い幼児教育の実践と発信。②キャリアに応じた人材育成と管理職の確保。③幼児教育と小学校教育の接続。子ども園化や預り保育実施が

進み、待機児童解消に一定の役割を果たしているが園数は年々減少している。遊びを中心とした主体的な生活の中で総合的に学ぶ幼児教育の基本は経済学者等もその重要性を提唱し、OECDも“Starting Strong―人生の始まりこそ力強く―とスローガン”を掲げている。保護者、地域、学校関係者、行政等に向けて、公立園の質の高い幼児教育の実践を可視化して発信し理解を図る必要がある。

□小学校

東京都公立小学校長会

会長 喜名 朝博

○課題三点―①新学習指導要領への対応。来年四月から全面実施で、この夏に教科書も採択された。学習評価では、「学びに向かう力・人間性等」の評価をどうして行くかこれからの研究課題である。カリキュラム・マネジメントでは教師の理解が大切。プログラミング教育等ICT活用では環境整備で自治体間の格差や教員の力量の差などが課題。②優秀な人材の確保。人

材の問題は複合的な課題でもあり、教員の資質・能力は新学習指導要領への対応や働き方改革とも深く関わる。③働き方改革の推進。対応に自治体間の大きな差のある中で、教育の質の確保や教育課程・教育内容の考え方の転換も問題となっている。

□中学校

東京都中学校長会

会長 酒井 泰

○課題三点―①新学習指導要領とその移行措置に向けた対応。小学校実施の翌年からということとまだ先のことと思っている教員が多く安易な安心感が多い危惧もあり意識啓発の必要性を感じる。道徳の評価では昨年の研究の成果があがっているが評価の出し方では地区による違いもある。②生徒の自殺・いじめ・不登校の未然防止。自殺は中学も増えている。ビデオ教材を活用するなどしてSOSの出し方教育も進めているが先ず保護者にも見せて意識を喚起する必要がある。③働き方改革の推進。自治体間の格差も問題。教



員の業務の量が変わらない中での取り組みで厳しい。しかし推進を進める中で、『効率的に仕事をやる大切さ』に気付くのも出て来たことはいい。

□高等学校
東京都公立高等学校長協会
会長 金澤 利明

○課題四点―①令和二年度からの大学入試に活用する英語4技能検定について。制度化が遅れ

ている問題でもあり不安である。

②三年後に迫った新学習指導要領に基づく各学校のグランドデザインの新課程と新教育課程の編成。新課程となつて現在の中学三年生が高校三年になった時に18歳成人制度の本格化。18歳選挙権だけでなく、消費者教育の充実も求められている。③2020東京オリンピック・パラリンピック開催における夏季休業中の対応。観戦の指導、引率試合会場の学校用の集合・解散場所の確保、熱中症予防の対応策が必要。生徒の体験ボランティアも大変。

④今後の入学者選抜等について。全国的には高等学校の再編・統合が進んでいるが、東京では高校入学者予定者が今後二年度は一旦は減少。しかしその後約十年間は大幅に増加する。それへの対応。

以上の懇談会後は会場を事務局の部屋に移して懇親会が和やかに持たれ、散会した。

(鈴木一徳・梅津通郎)

高齢者叙勲受章会員

栄えのご受章お祝い申し上げます。
計4名 (敬称略)

(令和元年10月9日までに
本部に届けがあった方々)

- 瑞宝双光章 (4名)
- 中根 博 (練馬)
 - 森川 亮 (八王子)
 - 坂井 幹 (千葉西)
 - 亀井 亮 (埼玉)

【叙勲受章会員の方々を会報に掲載するにあたって】

- 春・秋の叙勲受章の方々については、内閣府のデータバンクから情報が入りますので支部長からの申し出の必要はありません。
- 高齢者叙勲受章の方々については、支部長経由で連絡があった方のみ掲載します。
- 叙位・叙勲 (死亡叙勲) は掲載しておりません。

令和元年度『第2回会員研修会』のご案内

東京都退職校長会 生涯学習部

令和元年度第2回『会員研修会』を下記の要項で実施いたします。
多数のご参加をお待ちしています。

- ◎ 期 日 令和元年11月19日 (火)
- ◎ 時 間 受付 12時30分～13時00分
研修会 13時00分～15時45分
- ◎ 会 場 日本退公連・鈴木共同ビル 3F
(東京都退職校長会のビル)
文京区湯島 4-12-3
03(5814)5615
千代田線湯島下車徒歩6分

「生き生き人生を目指して」 ～絵手紙と写真で心の表現を～

- 研修① 絵手紙づくり 13:10～14:10
講師 北多摩北部 東久留米地区
村木 通輝先生
- 研修② 写真を楽しむ 14:20～15:20
講師 神奈川県 湘南地区
横山 忠太郎先生

令和元年度 第一回「人材バンク」登録者対象研修会

Ⅱ都受託事業「人材バンク」特別委員会報告Ⅱ

第一回の「人材バンク」登録

者対象研修会は、去る七月二十日（土）都研修センターで開催された。

1. 研修会の趣旨

学校において、質・量とともに多種多様な外部人材を広域的に確保し、より高い教育効果を上げることが目指している事業である。「人材バンク」は、大學生、教育退職者、スポーツ指導者など様々な都民の協力を得て、学校教育活動をサポートしている。この事業の普及、広報活動を都退職校長会が毎年委託を受け、今回で九年目となった。

その業務の一つに、登録者を対象とした本研修会がある。

意欲的に学校教育を支援しようとする登録した人々が、スムーズに活動に参加できるよう、学校教育に関して必要な知識や児童生徒に接する際の心得等を研修する場である。

2. 研修会の内容

- ・日時 七月二十日（土）
- ・会場 都研修センター
- ・受講者（登録者） 二十五名
- ・研修の流れ（受付10時、講義Ⅰ10時30分、講義Ⅱ10時45分、グループ別演習11時45分）

3. 講義Ⅰ・講義Ⅱについて

・全体会形式：主催者・都教育庁人事部より挨拶と人材バンク事業の説明。次に、多田丈夫会長より「学校教育とボランティア活動」の講義が行われた。

・続いて「発達段階に応じた児童生徒との接し方」：四校種別（小：羽豆成二氏、中：岩谷俊行氏、高・特：多田丈夫会長）の講義があった。

・その際、都退職校長会作成の「研修ノート」（講義内容のポイント記載）を受講者に配布し、講義内容を研修ノートで確認して受講できるように

配慮した。

4. グループ別演習

研修会後半は、受講者参加型の演習タイムを設定。各グループに運営委のメンバーが分担して入り、司会進行・助言等を行った。受講者の均等な発言、関心事に配慮し、特に講義を聴いた感想、意見等の充実を重点とした。

演習の流れは、①受講者の自己紹介②講義を聴いた感想・意見等③コーディネーターの教育情報の提供や体験談等を交えた助言④まとめ（研修報告の記入



熱心にグループ別に演習をする受講者

とアンケートへの回答）である。

5. 受講者のアンケートから

○アンケートの結果では、研修会参加が非常に役立ったとの回答が92.0%を得た。

・発達段階に応じた四校種の子どもの接し方のヒントが得られた。特に高校生の発達で多様性の話を伺い、自分の子供の成長で理解できなかった点 がクリアになった。

・教職を経験した方の話は説得力があり、大変参考になった。
・全校種で特別支援教育が実践されていることに驚き感動した。

・体験談等から、学校の課題、いじめ、体罰等、また教育改革の話が聞けて勉強になった。
・実際の活動に対する不安を取り除くことができた。多くの関係者の方々の熱い思いに支えられていると感じた等有意義にとらえてくれたことが分かった。

・次回の研修内容には「教育課題とその対応」等、受講者の声を反映する企画、運営に努めたい。（文責 伊地敦子）

地方会員の声

今に想うこと

宮崎県 門川 公雄

◎大切な仲間との深い絆
 多くの出会いが仲間と深い絆となり一生の宝です。学校は培われた業績・指導力が必要です。宝物として健やかに暮し、健康第一で社会貢献をして下さい。

◎熱中したバレーボール

戦後学徒隊から復員してバレー部に入部、昭和二十一年鹿児島県代表で第一回国体に出場以来大きく人生が変わりました。上京して大学リーグ・杉並教員で全国大会に出場、同じ時期に生徒は都大会で三連続優勝。東京オリンピック役員に出向後、国内外に派遣され中学生の台湾遠征に同行しました。



都優勝



東洋の魔女



台湾遠征

◎老後の助け合い

最後は孤独になります。健康家族の幸せを願い地域社会福祉に関わり、培った指導力を発揮して下さい。老々介護には限界があります。民間の若い力を借りて余生を全うする事です。

新入会員減少は何処でも同じです。都準会員制度の定着を望みます。頑張りましょう。

新入会員の声

教職という天職に感謝

品川支部 矢田 雅久

三十八年前、大田区の東調布第三小学校へ赴任したのを皮切りに、品川区、世田谷区、千代田区、そして管理職として品川区へ戻ってから十五年、あつという間の楽しい幸せな現職生活でした。

もちろん、楽しい事ばかりではなく、辛く苦しく、涙する出来事もいくつもありましたが、今思い出すことは、子ども達の笑顔と、私を支えてくださった多くの先生方や保護者、地域の皆様と過ごした、楽しく充実した日々のことばかりです。

特に研究員、研究生、開発委員、海外派遣で共に学び、苦労した仲間との思い出は、一生の宝です。

一つの区切りとして退職した今は、私とかかわってくださった多くの方々に感謝し、残された再任用校長としての日々を、今まで校長として掲げてきた「当たり前」が当たり前前にできる「学校づくり」に全力で取り組みたいと考えています。

こんなにも楽しく充実した日々を与えていただくことができた教師という職は、私にとって「天職」と心より思っています。だからこそ、もう少しだけ悔いの無いように全力で走りたいこうと心に決めております。そして、再任用が終わったら、体の続く限り何か、子ども達とかかわりながらも、今まで支え続けてくれた妻に心からの感謝を表しながら、二人でゆっくり余生を楽しむのが夢です。

「一期一会」

西多摩支部 榎戸 淳

三十九年間、七つの中学校・一つの小学校を無事に終え、今

年の三月に退職いたしました。

長きにわたり教職を続けることができたのは、多くの先輩や同僚の先生方の励まし、そして保護者や地域の皆様のご協力のおかげだと改めて感じています。

初任校の国立二中では、教科・学級・生活指導など無我夢中で過ごし、多くの皆様に大変ご迷惑をかけたと思いますが、私にとっては、とても充実した毎日でした。特に放課後の野球部活動では、休みなく毎日指導・練習し、生徒とともに汗を流し、優勝した時の喜びは大きいものでした。また、校長として過ごした十三年間、故郷である青梅の地で勤務できたことは大変うれしいことでした。

多くの方々の出会いが私を成長させていただいたと感謝しています。

現在は、縁あって青梅の成木保育園長として勤めています。

六十七人のかわいい園児に囲まれ、日々奮闘する毎日ですが、今までの教職の経験を生かし、少しでも子供たちのためにと頑張っています。「一期一会」をいつも心に刻み進んでいます。

支部だより

地域で楽しむ仲間と楽しむ

北区支部長 土幸 壽子

今年度も、五月、北とびあに於いて東京都退職校長会北支部の定期総会を行いました。

懇親会には北区長花川與惣太様、教育長、都退職校長会、都退職公務員連盟、北区立幼(園)・小・中学校校長会会長の皆様のご出席をいただき盛大にまた、和やかに懇親を深めることができました。

北支部の特色としては退職公務員連盟北支部と合同で役員会や行事を行っていることです。

本支部の目的として、「会員相互の親睦をはかり、合わせて支部地域の教育、及び東京都の教育振興に寄与する」とあります。具体的な活動の内容には、次のようなものがあります。

一、会員研修会

毎年行われている活動ですがボランティアガイドの案内で、滝野川(26年度)、赤羽(27年度)、西ヶ原(28年度)、王子(29年度)、豊島(30年度)と地域を巡り先人の知恵や暮らしぶりに思いを馳せ会話も弾んでいます。今年度は、趣を変えて、「こんなに

面白い 上野公園」というテーマで退職公務員連盟の新井副支部長の企画が検討され一〇月二日(水)に行います。

二、あすか作品展

会員一人一人が、生き生きと健康で心豊かな人生を送ることを目指して毎年(26回目)、中央公園文化センターで行われます。退職校長会加藤副支部長が実行委員長となり計画を進めます。区や学校関係者ばかりでなく地域の方々も参観され作品の前に会話を楽しむ様子が見られます。

三、都教育庁人材バンク受託事業

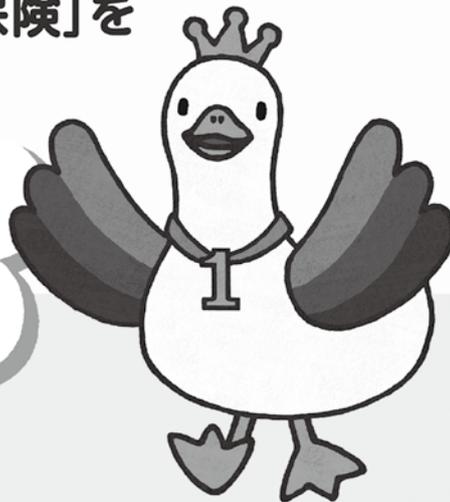
加藤副支部長が積極的に区や学校と連絡、調整をして成果を挙げている事が報告されています。

大崎前支部長のご尽力で再任用や区教委で嘱託をしている会員が増え活性化が見られます。顧問の方々も温かくご指導、ご支援していただいています。

一月の役員懇親会は、健康寿命や社会情勢、教育問題など話題も広がり笑顔の溢れる会となっております。

これからの医療の進歩を見据え、「生きるためのがん保険」を新しくします。

NEW/ 生きるためのがん保険 Days 1



アフラックはがん保険契約件数 No.1 平成29年版「インシュアランス生命保険統計」

NEW/ 女性特有のがんにも手厚い 生きるためのがん保険 Days 1

NEW/ あなたの保障を最新化 生きるためのがん保険 Days 1 プラス

すでにアフラックのがん保険にご契約の皆様へ

■募集代理店(アフラックは代理店制度を採用しております)

三泉トラスト保険サービス株式会社

0120-357-212

FAX 03-3233-6754

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-11-1

(引受保険会社)

「生きる」を創る。

Aflac

アフラック

東京第一法人営業部

〒163-0456 東京都新宿区西新宿2-1-1

新宿三井ビル19階

Tel.03-3344-1446 Fax.03-3348-0565

◎詳細は「契約概要」等をご覧ください。

支部会則改正
北多摩西部支部長 東海林和衛

本支部は立川・昭島・国立・東大和・武蔵村山の五市で構成している。これまで地区輪番制で運営してきたが、「支部連合制」の運営に会則を改正し、新たなスタートをきった。これにより、「会員相互の連携」をより深めていきたい。

昨年度は会員の親睦、研修として三つの事業を行った。

①秋の自然探訪「青梅路の紅葉を探して」：平成三十年十一月二十一日、青梅線石上駅からすぐの「ブリヂストン」保養所庭園↓多摩川↓梅郷↓日向和田駅コースで紅葉を鑑賞した秋満喫の一日だった。

②春の自然探訪「カタクリの里の花園を歩く」：平成三十一年四月三日、神奈川県相模原市の県・花の名所百選「城山・かたくりの里」を訪ねた。園内は目前の丘の斜面が梅、桃、桜の

白い花や薄紅色の花で覆われ、丘を登り切ると右も左もカタクリの群落だった。カタクリはユリ科の多年草で4月上旬に淡い紅紫色の六弁の花を咲かせる。花期は一週間ほどで、スプリング・エフエメラレル（春のはかない花）の代表格である。黄色のカタクリもあり十分堪能した。

③レク・座論会：令和元年五月八日、立川市柴崎学習館で、第六回を行った。これは「互いに心を開いて、レクをしたり、座して議論をしたり」するもので、昼食をはさんで、一日、教育論や体験談などを語りあい仲間意識を高めた。

今年度は、十月三十日、「昭島市教委と退職校長会（支部）の交流会」を昭島市立拝島第三小学校で行う計画である。「学校給食の現状と課題」をテーマに教育交流会を実施し、本支部の目的の一つである教育支援に寄与するよう取組んでいきたい。

東京都退職校長会会員の皆様へ

昭和51年4月に東京都退職校長会の会員の皆様の福利厚生の一環として団体契約を頂戴しております。会員ご本人様はもとより、ご家族、ご親戚の方々もご利用いただけます。

事前相談
どんなに些細と思われなくても
お気軽に

ご葬儀
寝台自動車、火葬場
式場、供花・枕花の
お手配

**ご法事、
葬儀後の
お手続き**

家族葬から音楽葬など、あらゆるご葬儀を承っております。
年中無休・24時間体制、どのようなことでもご相談ください。

フリーダイヤル ☎0120-849544 をご利用ください。



経済産業大臣許可（互）第3066号
株式会社

東京都民互助会

東京都民互助会

検索

<http://www.tomin-gojyo.co.jp>

〒167-0042 東京都杉並区西荻北5-1-8 TEL.03-3396-7231 FAX.03-3395-8874

(令和元年9月25日届出現在)

物故者

謹んでご逝去を悼み

ご冥福をお祈り申し上げます



Table with columns for Name (氏名), Date of Death (年月日), Branch (支部名), School Type (校種), Age (年齢), and Page Number (名簿頁). It lists 20 deceased members with their respective details.

湯島の動静

Table of activities for the Tokyo Association of Retired Principals, organized by month (8月, 9月, 10月) and activity number (1-31).

編集後記

消費増税が実施されて約一か月。キャッシュレス決済が推奨される等、令和元年度は変化の激しい年のようです。

退職校長会では八月の残暑の最中、「五団体との教育懇談会」が行われました。各校種の会長・副会長先生方が、教育現場の主な課題として「新学習指導要領と働き方改革への対応」を挙げられました。

今年度、退職校長会の嬉しい話題は、現時点で79名の方が入会してくださったことです。この勢いを更に加速させ、会員の皆様の絆を強める一助となる会報誌を編集していきたいと思いを新たにしました。

(角田美枝子)